

タットン会 通信

2015.

9.12

タットン会ホームページ**タットン会**と入力すると検索でき、**会の趣旨**や**開催日時**などが確認できます。また、「ボランティアセンター 046 (821) 1303」で、日程を確認することもできます。
※活動中などの写真掲載等をご辞退なさる方は、事務局員にお申し出ください！（事務局は青バッチです）
 （8/22の参加費は7,000円 募金は700円 義援金は100円。参加者総数は、60名弱でした。）

この夏は、異常なほどの暑さが続きましたね！ 皆様の夏はいかがでしたか！
 裏面には、私の夏の研修と旅行の報告を少し書かせていただきましたのでお読みいただければと思います。

8月22日147回目のタットン会—

8時25分、県大の守衛さんに挨拶すると「まだ、学生は来ていない」とのこと。とりあえずは荷物を体育館前に持っていき学生を待とうと思いつながら「もしかしたら、この日を忘れていないかな！？ もし学生が来られなかったら、タットン会の皆とどうやって過ごそうか！？」などと色々な心配が頭をよぎりました。しばらく待っても来ないので、守衛さんのところに再度行ってみると～学生の長野君が体育館のカギを受け取っていました。その姿を見て、ドキドキしていた心も穏やかになり、長野君がまるで天使のように見えました（笑）。

タットン会のたくさんの荷物も、県大HSCクラブの部室に預かってもらっています。県大生の協力なくしてはタットン会をスタートすることはできないのです。

この日は、市民活動パンフレットを見て参加くださった方々など初参加者11名を含め、約60人で暑い中でしたが卓球・バドミントンを楽しみました。中学生ボランティアが2名参加してくれたことも嬉しかったです。

初のチーフの杉山君、サブチーフの長野君は何度も休憩の言葉かけをしてくれていました。

また、チャレンジャーさんに対してボランティアさんの数が少なく、保護者様にも協力してもらいながら進めることが出来ました。みんなのTシャツも汗でビショリ……。しかし、熱中症や具合の悪くなる仲間も出ずに、爽やかに終わることが出来ました。



— チーフコメント —

タットン会に参加させてもらって早数年。今回初めてチーフを務めさせていただきました杉山健一です。いつもみなさんがチーフやっているのを見ていたので、自分にチーフを任された時に「余裕かな！？」と思っていましたが、見事にその自信は崩れました。休憩の時間配分はグダグダ、手話の歌詞カード準備不足などなど…反省点ばかりでした。しかし！またチーフを任されたら「次こそはノーマスで！」と改めて思った初チーフ経験でした。

最初の出会いは30年前の中学校での先生と生徒の関係だった佐藤先生と、夜の街で偶然再会してから、よほどの予定がないかぎり参加させてもらっているタットン会。これからもタットン会に来られている皆さんから元気をもらいに顔を出しますのでよろしくをお願いします。

感想・参加者カード・気がついたこと!!! チャレンジャーさん 22名参加

- ※1. Aコートでバドミントンラリーをしました。後半は、ペア（男女）で試合をやり充実していました。一生懸命に、真剣に取り組む姿が印象的でした。私が下手だったので、100回以上続かずすみませんでした。（三谷様）
- ※2. ラリーをしながら、少しカット気味のボールを入れて練習しました。バック側が打ちにくそうでした。サーブとバックの練習を入れたら良いと思います。（平野様）
- ※3. ボールを追う目、集中しています。フォア・バック共にボールに寄って very good でした。いつもニコリ笑顔で、時々強いボール返球も出来ました。（木本様）
- ※4. 左側へボールがずれてしまうことが多かったですが、何気なくボールを決めているところがすごい!!です。久しぶりにお会いしましたが、変わらぬ笑顔でありがとうございました。アゲハ蝶飛びました。（山内様）



ひと夏の研修と旅行

私は、夏季研修ではたくさんの貴重なお話を聞くことができました。

「障がい」って何!?

- ① ICF（国際生活機能分類）の「障がいの捉え方」として、なるほどな!と思ったお話があります。それは、障がいがある方もない方もそれぞれ個性を持っている。歩くことが難しい方は、車いすを使うことによってその障がいを克服することが出来る。しかし、周りの人たちとの関係がなかなか上手くいかないことも多く、その関係性の中に「障がい」がある—というお話。確かに、障がいを理解していくことは簡単なことではないと思いますが～その人自身が障がいでではなく、その人を取り巻く環境が障がいなのかも知れません。いずれにせよ、私たちはもっともっと広い視野を持って、障がいを受け入れる環境づくりを考えていく努力をしていかなければならないな!と思いました。
- ②「運動発達の見点による体育指導」では、**県立保健福祉大学教授 笹田哲先生**の運動学…。これについては、タットン会にて少しずつ実践を交えてお話しさせていただきます。
- ③「クラスに1人は必ずいる!? セクシャル マイノリティの子どもたち」…のお話では、**フェンシング元女子日本代表の杉山文野さん**のお話。自分の身体があまりにも不自然に感じ、苦しみながらも生きていた。そのために、自殺を考えていたこともあったり～。「**性同一性障害**」の話も広く考えさせていただきました。
- ④「**子どもの脳が育つ8つの原則**」では、「脳は死ぬまで成長する」「このままで良いと思ったら…ボケる」など、テレビでも引っ張りだこの**加藤俊徳先生**（2006年 『脳の学校』立ち上げ）のお話。
- ⑤ **旅行**は、昨年も行った那珂川温泉（栃木県）に行ってきました。やはり、スロープがあり「シャワーチェア」のまま温泉に入ることが出来る施設（右写真）は、なかなか見つかりません。行きは「日光江戸村」、帰りには天空の街「スカイツリー」（水族館）を見学してきました。日光江戸村では、昼食中雷雨に遭い車いすの母親を押しなが避難するのに大変な思いはしましたが、今となっては良い思い出です。



シャワーチェアに座り、スロープを渡って温泉に!

【本日 9月12日の時程 チーフ 佐藤】

- 9:30 ペア組（カード確認）・体操、各種目へ
- 10:20 休憩
- 10:35 後半の部（随時休憩を!）
- 11:05 片付け・パラシュート、感想カード記入
- 11:20 手話コーナー・けがの確認・感想
- 11:40 解散（時間は多少前後します）

11名の初参加者



《 2015年度の子定 》

文責 佐藤一雄

2015年	149回目	10/3 決定	150回目	11/7, 14, 21, 28	151回目	12/5, 12, 19, 26
2016年	152回目	1/9, 16, 23, 30	153回目	2/6, 13, 20, 27	154回目	3/5, 12, 19, 26